

# 『能登の里山・里海』／世界農業遺産(GIAHS)認定

## ■「世界農業遺産(GIAHS:世界重要農業資産システム)」とは

国連食糧農業機関(FAO)が、次世代に継承すべき重要な農法や生物多様性などを有する地域を認定するもので、その目的は、世界的に重要な農業上の土地利用、景観、生物多様性の保全を推進することにあります。

2011年6月11日、北京において能登半島(4市4町)が認定を受けました。



▲国連食糧農業機関(FAO)



▲世界農業遺産認定書(能登の里山・里海)



▲実行委員会発足式(認定証授与)

## ■「世界農業遺産」申請の背景

能登地域は、石川県北部、日本海に突き出した能登半島に位置する丘陵上の半島です。里山から里海、林地から農地を経て海までが、土地利用、農林水産業等の生業、生活文化・習慣及び生物多様性等において密接につながり、農林水産業が一体不可分となっている地域です。

土地利用では、谷津田状(※谷にある湿地)の農地が、連続的・モザイク上に展開し、自然の「緑の回廊」を形成して、農業による連続的な生態系が維持されています。 水稻を中心に、能登大納言小豆・大浜大豆などの豆類や能登野菜など、地域固有種を数多く含む多様な作物が栽培されています。

能登における米づくりの起源は、約 2,100 年前の弥生時代中期にまで遡ることができ、長い歴史の中で、農耕にまつわる祭事や、伝統的文化も数多く形成され、維持保存されてきました。

また、里山里海の生物多様性は、農林水産業による二次的自然の上に成立していることから、農林水産業の持続は生物多様性が存続していくための大切なカギとなります。

過疎化・高齢化が進む中、能登地域においては、農林水産業、自治体、地域住民、大学等が連携した人材の育成と農林水産業振興への取組、生物多様性を保全する取組が展開されるなか、今回の申請に至ったものです。



▲白米千米田(輪島市)



▲間垣(輪島市)



▲ぼら待ちやぐら(穴水町)

## ■「世界農業遺産」認定地域(12 地域)

- ペルー「古代バレイショ農法」
- チリ「チロエ農法」
- アルジェリア・チュニジア・モロッコ「マグレブのオアシス」
- タンザニア・ケニア「マサイの伝統」
- フィリピン「イフガオの棚田」
- インド「サフラン農業」
- 中国「水田養魚」、「ワニアン伝統稲作」、「ハニの棚田」、「カモ・養魚・稲作の循環型農業」

◎ 日本 能登半島「能登の里山里海」、佐渡市「トキと共生する佐渡の里山」

《2011/6/11 認定》

## ■ 能登の歴史的妥当性

### ○ 農林水産業

- ・ 能登地域全体に縄文、弥生時代の遺跡や古墳群(日本最古のおにぎり)
- ・ 能登国設置(渤海使、荘園⇒耕地・農業生産の拡大)
- ・ 里山里海の形成⇒製炭
- ・ 製塩
- ・ 里海利用⇒定置網、海女漁
- ・ 植林技術



▲製炭(炭焼き)



▲製塩(揚げ浜式塩田)



▲海女漁

## ■ 能登の社会的・文化的な特徴

### ○ 農耕文化・行事・祭

- ・ 風習 (あえのこと、あまめはぎなど)
- ・ 祭り (キリコ祭など)
- ・ 神事 (虫送り神事、神事相撲など)



▲能登キリコ祭り(あばれ祭)



▲あえのこと



▲あまめはぎ

# 『能登の里山・里海』／世界農業遺産(GIAHS)認定



## ■『能登の里山里海』を構成する主な要素一覧表 ＜分類・分野別抜粋＞

| 種別                                  | 名称                            | 所在                                              | 概要                                                                                                                             |
|-------------------------------------|-------------------------------|-------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 農産物・海産物                             | 神子原木                          | 羽咋市                                             | 教皇への献上品として有名な羽咋市神子原木の米の銘柄                                                                                                      |
|                                     | 能登野菜<br>(原産品を含め 13 品目)        | 能登一円                                            | 能登の伝統食として受け継がれ、古くから栽培されている「能登特産野菜」                                                                                             |
|                                     | 崎山いちご                         | 七尾市崎山地区                                         | 地元のブランドとして広く知られている。有機肥料を主体に栽培され、朝とりの新鮮なものだけを出荷している。                                                                            |
|                                     | 能登栗                           | 輪島市町野町など<br>穴水町山中                               | 奥能登で栽培されている栗を総称して能登栗と呼んでいる。                                                                                                    |
|                                     | 能登大納言小豆                       | 珠洲市、輪島市、<br>穴水町など                               | 皮が軟らかいものが特徴。珠洲の風土にあった作物で、市外で栽培しても大粒にならない。「赤いダイヤ」と呼ばれ、昔から栽培されてきた。                                                               |
|                                     | 大浜大豆                          | 珠洲市狼煙                                           | 昔から狼煙地区で栽培されてきた地豆。水田の畔に植えられていた。近年、甘味が強く、豆腐に適した大豆として見直され、栽培量を増加し地域振興につなげている。                                                    |
|                                     | 能登峨山キリシマ<br>(原産物)             | 穴水町桂谷、越渡、<br>上中、大角間                             | キリシマはツツジ科の植物。一重で赤い花びらののとキリシマツツジは、名僧峨山禅師が通った道に植えられたことから「能登峨山キリシマ」と命名された。                                                        |
|                                     | なまこ<br>網もずく                   | 七尾湾                                             | 食用。このわた及びくちは生で食べられる。<br>他の藻に付くという意味から水雲が「もずく」と呼ばれるようになった。                                                                      |
| 農産加工品・海産加工品                         | ころ柿                           | 志賀町、<br>中能登町後山地区                                | 能登の特産品の一つ。使われている柿は最勝と呼ばれる種類で芯が小さく肉質が柔らかいことから最も適しているとされている。秋になると、散在する集落の軒の下に赤い実の柿が吊るされ、当地の風物詩として心とませしてくれる。                      |
|                                     | いしる(いしり)                      | 能登一円                                            | イワシやイカの内臓や頭、骨を塩漬けて発酵させた能登の伝統的な魚醤油。                                                                                             |
|                                     | このわた                          | 七尾市、穴水町                                         | なまこの腸を塩漬けにしたもので、江戸時代半ばから作られている。日本三大珍味と称されている。                                                                                  |
|                                     | くちこ                           | 七尾市、穴水町                                         | ナマコの卵巣を三角形にして干して作ったくちこは、能登が誇る高級珍味。                                                                                             |
| 農業振興・交流促進                           | 輪島朝市                          | 輪島市河井町                                          | 昔々、物々交換を行ったことが今の市の起源とされている。輪島では神社の祭日ごとに物々交換の市が立つと言われ、これが輪島の市の始まりとされており、一千年以上前から続いている。野菜などは周辺農家のおばちゃんが、活きのいい魚貝、海藻は漁師町の女衆が売りに出る。 |
|                                     | 春蘭の里<br>(グリーンツーリズム)           | 能登町宮地                                           | 「春蘭の里」は、豊かな自然の中で、地元の人との交流、里山での体験ができる拠点施設である。                                                                                   |
|                                     | 空き農家・農地バンク                    | 珠洲市、羽咋市                                         | 後継者不足に悩む一次産業において、空き農家及び農地を都市住民や就業希望者等に貸与し、農業に従事してもらう制度を活用し、都市との交流、地域農業の活性化を図る。                                                 |
|                                     | 烏帽子親制度                        | 羽咋市神子原町                                         | 農家宿泊により、都会に住む大学生と交流促進を図る                                                                                                       |
| 歴史的<br>かんがい施設・<br>その他<br>歴史的<br>建造物 | ため池<br>(漆沢池、ガン池、<br>原山大池、その他) | 能登一円                                            | 多くのため池の施設は江戸時代以前に造られた。農業用ため池の他、マガモやオオヒシクイをはじめ、ワシやタカの稀少水鳥の餌場になっている。ため池は、ゲンゴロウなどの水生昆虫、抽水植物、様々な動植物が生育している重要な自然環境である。              |
|                                     | 石垣田                           | 七尾市能登島、<br>西岸地区など                               | 石を積み上げ水田を造っている。能登島などの新開田でよく見られる。一部の棚田でも見られる。                                                                                   |
|                                     | 農業用水路                         | 能登一円                                            | 右門助用水は江戸時代以前に造られ、現在も農業用に使われている。七尾の右門助用水、輪島市の春日用水、穴水町の野中用水                                                                      |
|                                     | マンボ(地下水路)                     | 七尾市深見町、<br>垣吉町、湯川町                              | 大小の地下水路は新開田とともに江戸時代に建設された。深見のマンボ、舟尾川のマンボ、湯川の宝達(トンネ)                                                                            |
|                                     | 三ツ池隧道                         | 中能登町春木地区                                        | 今から約300年前に作られた隧道で、出口で分水し、春木「長池」と山麓に沿って末坂「南田池」に貯えられ灌漑用水となっている。                                                                  |
|                                     |                               |                                                 | ため池には、希少種を始めたくさんの生物が生息している                                                                                                     |
| 取り組み・<br>教育活動                       | 外来種駆除                         | 珠洲市                                             | 地域ぐるみで保護活動を実施しており、近年は来訪者も多い。                                                                                                   |
|                                     | ホテルの里<br>耕作放棄地を活用した<br>ホテルの再生 | 羽咋市垣内田町<br>穴水町桂谷、越渡、<br>上中、大角間                  | ホテルをさらに増やすために、工作放棄地の草刈り、水はり(さらには水路補修を行い)、維持管理を行うことで、水草やタニシなどの生物の住める環境づくり活動に取り組んでいる。                                            |
|                                     | ビオトープ活動                       | 七尾市能登島長崎町、<br>輪島市小池町                            | 集落の海岸から水田、里山までの範囲においてビオトープを設置し、生物が住みやすい環境づくりを行っている。                                                                            |
|                                     | 生き物調査                         | 珠洲市三崎町、<br>輪島市町野町金蔵、<br>羽咋市、能登町笹川、<br>中能登町小田中地区 | 主に小学生を対象に、用水路に生息する水生生物調査を行い、稀少生物や農村環境の保全に努めている。                                                                                |
| 優れた<br>農村景観                         | 白米千枚田                         | 輪島市白米町                                          | 輪島市白米町にある棚田で、小さな田が幾何学模様を描いて海岸まで続いている。春から夏には海に沈む夕日が田に映えて美しく絶好の撮影ポイントとなる。国指定文化財名勝。                                               |
|                                     | 間垣                            | 輪島市門前町                                          | 間垣とは、日本海から吹き付ける強い潮風から家を守る竹の垣根のことである。                                                                                           |
|                                     | 七尾西湾でのカキ棚                     | 七尾市七尾西湾                                         | 牡蠣養殖の竹を使った牡蠣棚が整然と並ぶ風景は、風光明媚な七尾湾をより印象深くしている。江戸時代中期から行われてきた。                                                                     |

| 種別            | 名称           | 所在                           | 概要                                                                                                                                         |
|---------------|--------------|------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 農耕文化・<br>行事・祭 | あえのこと        | 輪島市町野町、<br>珠洲市、能登町           | 「あえのこと」は毎年12月5日に、奥能登一円の農家で行われていて、田の神様を自宅に招いて、今年 1 年の収穫に感謝する田の神様の祭り。国指定重要無形民俗文化財。                                                           |
|               | キリコ祭         | 珠洲市、輪島市、七尾市<br>穴水町、能登町、志賀町   | 昔、舳倉島に鎮座した女神と輪島市の男神が、松明を目印に年に一度お会いするロマンあふれるお祭り。集落ごとに開催される村の鎮守や海の神様のお祭りで、御輿の渡御を迎えるために燈籠の役目として出される。御輿の先導役として夜道を照らすキリコが笛や太鼓で練り歩く姿は、優美で幻想的である。 |
|               | 石崎奉燈祭        | 七尾市石崎町                       | 海の男達が一年に一度熱い血潮をたぎらせる祭り。7基の「キリコ」が町を威勢よく練り歩く。(豊漁祈願)                                                                                          |
|               | あばれ祭り        | 能登町宇出津                       | あばれるほど神様が喜んでくれると信じて行う祭り。                                                                                                                   |
|               | 青柏祭          | 七尾市中心市街地                     | 日本一大きな3台の山車「デカ山」が地響きをたて古い町並み路地を練り歩き、その豪荘さを競う。(豊作祈願を含む)                                                                                     |
|               |              |                              |                                                                                                                                            |
| 伝統技術          | 稲のはざ干し       | 能登一円                         | 田んぼの畦に組まれたはざに稲を一束ずつかけ、時間を掛けて乾燥させる昔ながらの農法。現在は少なくなったが、はざ木で天日干しした米は美味。                                                                        |
|               | 炭焼き          | 珠洲市東山中、<br>能登町当日、<br>羽咋市神子原町 | 地元の森林を利用して炭焼きを実施。材料確保のため、耕作放棄地を開墾し、植林にも取り組んでいる。                                                                                            |
|               | 海女漁          | 輪島市海士町、輪島崎町                  | 現在200名ほどの海女がおり、夏の舳倉島・セツ島ではウェットスーツと水中眼鏡を身に付けた海女を大勢見かける。輪島の名産として名高いアワビやサザエのほか、寒天やトコロテンの原料になるエゴ(寒天原藻)採りもさかんに行われている。                           |
|               | いさざ漁         | 穴水町                          | 穴水町の川の河口で、四ツ手網をしかけ、いさざが通りかかると網を上げるという漁法。正確な起源ははっきりしていないが、1676 年の記録に現在と同じ漁法が記載されている。                                                        |
|               | ボラ待ちやぐら      | 穴水町根木、中居                     | 天文学者パーシバル・ローエル、著書「NOTO」の中で、怪鳥ロックの巣のようだと表現した漁業用のやぐら。やぐらの上で終日、ボラ(魚の一種)の群を見張り、網をたぐるといいう原始的な漁法で。ボラの習性を利用した定置網で、日本最古の漁法といわれている。                 |
|               | 揚げ浜塩田        | 珠洲市仁江                        | 揚浜式製塩は、世界最古の製塩技術である。三方を海に囲まれた珠洲市は、かつて製塩業が盛んであり、今も受け継がれている。                                                                                 |
| 工芸品           | 能登上布         | 中能登町能登部下地区                   | 今からおよそ二千年前に、崇神天皇の皇女が現在の中能登町能登部下に滞在した際この地に機織りを教えたのが能登上布の始まりと伝えられている。能登上布は細やかな耕模様が特徴。1960年石川県の無形文化財に指定。                                      |
|               | 輪島塗          | 輪島市                          | 輪島塗は日本の代表伝統漆器で、特徴は堅牢さと上品な美しさ。100以上の丁寧な手作業の工程を得て作品を仕上げる。                                                                                    |
| 歴史的<br>建造物    | 角海家          | 輪島市門前町黒島町                    | 幕末から、汽船や鉄道が出現するまでの間、活躍した船問屋。最盛期には七隻もの北前船をもち、栄華を極めた。角海家の住宅は、典型的な船問屋形式の豪荘な建築で、県指定有形文化財。                                                      |
|               | 黒丸家          | 珠洲市若山町上黒丸                    | 黒丸家は、前田藩主の能登入部後、初期の十村役を務めた家柄。石川県下で最も古い民家であり、全国的にも有数の格調高い建物。                                                                                |
|               | 松尾家          | 輪島市町野町                       | 松尾家は代々庄屋を務めた名家。築150年の母屋は木造平屋建て約300平方メートル。広い土間や囲炉裏付きの座敷、15畳の座敷などが並び、かつての豪農の暮らしを伝えている。                                                       |
|               | 南惣家          | 輪島市町野町東大野                    | 南家は鎌倉以前から今日まで25代続く奥能登の豪族。南惣とは南家の屋号。1971年に築200年の米蔵を美術館に改装し、歴代当主が収集した名だたる絵画、陶磁、仏像、民具などの収蔵品250点を展示している。                                       |
|               | 時国家          | 輪島市町野町                       | 上時国家、下時国家は、源平・壇ノ浦の戦いで敗れた平家一門のうち、「平家にあらずんば人にあらず」と誓った言葉を述べた事で知られる武将・平大納言時忠の末裔と呼ばれる時国家の豪荘な邸宅。両家とも800年の歴史を受け継ぎ現在に至る。国指定重要文化財。                  |
|               | 若山荘          | 珠洲市                          | 能登の国最大の荘園「若山荘」                                                                                                                             |
|               | 熊木荘          | 七尾市                          | 1224年からの七尾氏の荘園                                                                                                                             |
|               | ホクリクサンショウウオ  |                              | ホクリクサンショウウオは1971年に発見されたが、石川県では極小さい範囲で生息している。固有類。県内でこれまでに確認された両生類は、20種(亜種を含む)で本州産両生類の約67%に当たる。                                              |
| 希少な生物         | シャープゲンゴロウモドキ |                              | 大型のゲンゴロウの仲間で、1984年に再び発見されるまでしばらくの間絶滅したと考えられていた。                                                                                            |
|               | イカリモンハンミョウ   |                              | 昆虫の一種で、県天然記念物に指定されている。絶滅危惧類。生息環境として池作りなど、保護活動に取り組んでいる。(日本での生息地2か所)                                                                         |
|               | トミヨ          |                              | 湧水に影響されやすく、1年を通じて水温の変化があるところに生息する。水草で作った巣に産卵するため、水草が茂った環境が必要。石川県には、たった2か所にしか生息しない。                                                         |